

(同書 p. 248) となっていた。たしかに英文としてはこの程度で良さそうで、上の原和文はそのまま英訳するにはきめが細かすぎるようだ。

「沖縄の南東方で」は上の訳文で良さそうに見えるが、厳密に言うと、上の「南東方で」はただ方向を示すだけでなく、「南東方のあまり遠くない所で」という意味である。つまり somewhere not far away, to the southeast of Okinawa ということだが、これではくどすぎる。the southeastern sea area of the Okinawa Island (予報部N氏) もうまくない。sea area という言い方があるのか疑問だし、southeastern のつけ方もまずい。the sea to the southeast of Okinawa とすべきであろう。なお island をつけるなら the Okinawa Islands と複数にしたい。結局、北上する台風のがわから見れば

「沖縄の手前で」ということだから、somewhere short of Okinawa とするのが原文から離れるが一番簡潔で良からう。以上をやや自由な態度でまとめてみる。

We know, from their investigations, that the typical typhoon takes the following course: in its initial stages in the South Seas the typhoon moves west or west-northwest, and somewhere short of Okinawa it gradually recurves northward, until finally it settles in a northeast or east-northeast path. Thus the typical course is a parabola.

最後の文の typical と course は上に一度使われているので、繰り返しを避けたければ、Thus the whole track is a parabola. としてもよい。

44年度白鳳丸研究航海シンポジウムについてのお知らせ

東京大学海洋研究所

44年度の白鳳丸の研究航海の大綱は、42年度に開催された各分科会シンポジウムの結果を参考にして、協議会・共同利用施設運営委員会・分科会の合同会議で決定されております。これらの航海を学問的により成果のあるものとするために、下記の通り、シンポジウムを開催することになりました。積極的な参加をお願いいたします。

記

- | | |
|----|--|
| 日時 | 昭和43年 8月26日(月)~29日(木) : 午前9時~午後5時 |
| 会場 | 東京大学海洋研究所 大講義室(東京都中野区南台1-15-1) |
| 日程 | 8月26日 1. 日本海・日本海溝航海(日本海・日本海溝の地質・地球物理学的研究, 日本海の生物相および生物生産に関する研究)
コンビナー: 奈須紀幸 |
| | 8月27日 2. 北・熱帯太平洋航海(北・熱帯太平洋海域の低次生産層物質循環機構の研究)
コンビナー: 根本敬久, 田中昌一 |
| | 8月28日 3. 北太平洋航海(北太平洋北西部における深水層・中水層の研究)
コンビナー: 寺本俊彦, 堀部純男 |
| | 4. 九州南方航海(GARP計画)(大気-海洋間相互作用の研究)
コンビナー: 寺本俊彦 |
| | 8月29日 5. 伊豆・小笠原航海(北太平洋西部深層水および浅海堆積物の研究)
コンビナー: 寺本俊彦, 堀部純男 |
| | 6. ソロモン・サンゴ海航海(太平洋赤道潜流の源の研究)
コンビナー: 寺本俊彦 |

御希望の方は、8月中旬にシンポジウム予稿集をお送りすることになっておりますので、海洋研究所事務部共同利用係まで御連絡下さい。